



学校だより

令和8年9月号（その3）

誠の花

発行 令和8年9月14日

かつらぎ町立渋田小学校

かつらぎ町東渋田 151-1

TEL 0736-22-2004

【教育目標】

やさしく かしく たくましい 児童の育成

学校評価アンケート結果について

7月に実施しました学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童及び保護者アンケートの結果を報告いたします。「とてもそう思う」「まあそう思う」を肯定的評価、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を否定的評価としています。回答数を100%として、それぞれの割合を%で示しています。

【児童アンケート結果】

(%)

	項 目	肯定的 評価	否定的 評価
1	学校が楽しい。	95.6	4.4
2	友達と仲良くしている。	97.8	2.2
3	相手の立場や気持ちを考えて行動している。	93.3	6.7
4	授業がよくわかり楽しい。	95.6	4.4
5	学習の中で、自分の考えを話すことができる。	88.9	11.1
6	学習の中で、自分の考えを書くことができる。	95.6	4.4
7	学習の中で、自分で考えて問題に取り組んでいる。	95.6	4.4
8	先生の話や友達の発表をしっかりと聞いている。	100	0
9	せんせいたちは、わたしが がんばったことを ほめてくれる。(1・2年) 先生たちは、私が努力したことを認めてくれる。(3～6年)	97.8	2.2
10	先生たちは、いじめやけんかで困っているときに助けてくれる。	100	0
11	掃除を一生懸命している。	97.8	2.2
12	いじめは いけないことや、きまりを おしえてもらっている。(1・2年) いじめはいけないことや、社会のきまりについて教えてもらっている。(3～6年)	100	0
13	いえのひとに がっこうのことを よくはなす。(1・2年) 家族に学校のできごとをよく話す。(3～6年)	84.4	15.6
14	いえのひとは、わたしに がっこうのことを よくきいてくれる。(1・2年) 家族は、私に学校のことをよく聞いてくれる。(3～6年)	91.1	8.9
15	自分の気持ちを友達や先生に話すことができる。	91.1	8.9
16	家で自学や漢字や計算をくり返し練習している。	88.9	11.1
17	べんきょうするとき むずかしいことがあっても さいごまで がんばっている。(1・2年) 学習中むずかしいことがあっても最後まで努力している。(3～6年)	97.8	2.2
18	読書をしている。	88.9	11.1
19	毎日、友達・先生・地域の人にあいさつをしている。	95.6	4.4
20	元気よく遊んだり運動をしたりすることが好きだ。	95.6	4.4

21	地震や火事が起こったとき、また不審者にあったとき、どうしたらよいか知っている。	100	0
22	「早ね・早起き」を実行している。	82.2	17.8
23	毎日朝ごはんを食べている。	97.8	2.2
24	自分にはよいところがある。	88.9	11.1
25	この町が好きだ。	97.8	2.2

【保護者アンケート結果】

(%)

	項 目	肯定的 評価	否定的 評価	わから ない
1	学校は、おたよりやホームページ等を通して、学校の取組をわかりやすく伝えている。	89.7	7.7	2.6
2	子供一人一人が大切にされ、認められる学校になっている。	97.4	2.6	0
3	子供の学習や生活について、相談しやすい学校になっている。	92.3	2.6	5.1
4	学校は、子供に社会のルールを守るように教育している。	97.4	2.6	0
5	学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	92.3	5.1	2.6
6	学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取組を行っている。	94.8	2.6	2.6
7	学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。	92.3	5.1	2.6
8	子供は、楽しそうに学校へ通っている。	95.3	2.4	2.3
9	子供は、学習がわかり基礎学力が身に付いていると思う。	93.0	7.0	0
10	子供は、学校のことをよく話す。	83.7	16.3	0
11	子供は、家庭で読書をしている。	51.2	46.5	2.3
12	子供に学校のことをよくたずねている。	90.7	7.0	2.3

今年度の研究主題は「思いや考えを表現できる児童の育成～話す・聞く・書く力の活用～」です。

【児童アンケート結果】の研究主題に直接関わる項目5・6・8については、「5 話す力」でやや肯定的評価が低いものの、子供たちは概ね身に付いた力を発揮できていると言えます。「7 主体的に学習する姿勢」についても肯定的に捉えている児童が多いことが分かります。また、昨年度まで肯定的評価が最も低かった「18 読書」は、大きく改善しました。このことについては、継続的な取組の成果が表れたものと大変うれしく思っています。さらに、「8 聞く姿勢」「10 先生への信頼」「12 いじめや社会の決まりの認識」「21 緊急時の対応の理解」で、肯定的評価が100%という結果でした。一方、「22 早寝・早起き」について、昨年度の同時期と比べて大幅に低い結果となりました。登校時、眠そうな表情で挨拶をしても返答がなかったり、あくびを繰り返したりしている児童が見られます。早寝・早起きの習慣を付けることは、心身の健康とともに元気に学校生活を送る上での土台となりますので、ご家庭でのご協力をお願いします。

【保護者アンケート結果】でも、多くの項目で肯定的評価が高い結果でしたが、今年度新たな項目としました「11 家庭での読書」については、51.2%と低い結果でした。習い事等により家庭で読書をする時間がない子、テレビやゲーム等に多くの時間を費やしている子など、家庭での状況は様々だと思いますが、読書の楽しさを感じたり読書を習慣として定着させたりするためには、学校だけの取組では不十分だと考えています。そのため、一定期間、家庭学習の一環として家読（おうちで読書）の取組を計画しています。その際は、ご家庭でも読書ができる環境を整えていただいたり、家族みんなで読書を楽しんだりするなど、ご協力をお願いします。

その他、学校運営についての貴重なご意見を記述いただきありがとうございました。課題につきましては、改善できるところから取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。